

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	MFLP大阪交野新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府交野市星田北9丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	470人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年8月16日
敷地面積	33,948㎡	作成者	八浦尚美
建築面積	20,301㎡	確認日	2021年8月19日
延床面積	73,020㎡	確認者	大窪研二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7

音環境	3.0
温熱環境	1.6
光・視環境	3.4
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.2
耐用性	3.0
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・地域環境	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	3.9
地域環境	3.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	交野市に建つ工場増築の計画である。リサイクル材や節水機器の採用で環境に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	全面的にF☆☆☆☆を使用するなど空気質環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 外観バースを2面以上作成し、周辺環境へ与える印象を検討している。
LR1 エネルギー	LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に配慮している。
Q2 サービス性能	建物の両端に休憩室や売店を設置することで、建物利用者の利便性を高めている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具の採用により水資源保護に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-変-0013

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	MFLP大阪交野新築工事					
	建設地	大阪府交野市星田北9丁目					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	4.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	特に無し	